

令和7年度 安城市立二本木小学校人権教育全体計画

関係法令等

日本国憲法・教育基本法
学校教育法・学習指導要領
こども基本法・世界人権宣言
児童の権利に関する条約
あいich人権推進プラン
あいちの教育ビジョン 2025
安城市教育委員会
学校教育の指導方針

学校運営方針

安城市立二本木小学校
学校経営計画

校訓

仲よく～みんな元気で仲よく伸びていく子～
令和7年度学校教育目標
描こう 自分の未来 創ろう みんなの学校

こどもを主語にした教育を展開するための指針
自慢したくなるみんなの学校
～誰一人取り残さない成長・教育・仲間の保障～

子どもの人権課題

人権意識はあるが人種・国を理由に人権侵害に至る可能性もあり、相互の人権意識醸成には至っていない

保護者の思い

学校でみんなと元気で仲よく伸びてほしいという思いは誰もがもっている

地域の思い

あいさつにあふれ、互いに声をかけ合える地域での関係を構築したい

本校の人権教育目標

教育活動全体を通して道徳教育や道徳の授業を大切にしつつ、常に基本的人権尊重の理解を地域・家庭・児童会とともに深め、国際的な視野に立った人権感覚を身に付ける児童を育てることをめざし、偏見、差別、いじめのない学校・学年・学級づくりを通して、地域全体へ広がりと共に感を得られる取り組みが展開される教育を積極的に進める。

学年・学級目標（学年・学級経営）

低学年 友達を差別したり、仲間はずれをしたりせず、だれとでも仲よくする。
中学年 相手の気持ちを考えて、友達を大切にする態度を育て、みんなと仲よくする。
高学年 人間尊重の立場で望ましい集団生活ができるようにし、みんなと互いに仲よくする。

各教科・領域における指導の重点

各教科

教科の学ぶべき内容や目標を大切に、人間尊重の考え方のもとで社会の正しい見方・考え方の育成を図り、豊かな心情を養う。
チームでともに学び、チームで個を大切にしたい指導を展開して、学ぶ意義を見出し、自ら考え、行動するための力をつけることをめざす。

道徳

自分の人権や生命を大切に、自分に自信をもち、仲間と仲よく元気で伸びていくことをめざす。
みんなの人権や生命を尊重し、仲よく、助け合い、励まし合う態度を育成する。
対話等での考え方の交流を大切に、様々な立場・視点をもって人権について深く考える視点をもつ。

特別活動

学校・学級・学年・ペア活動・クラブ活動等多様な校内での児童間の対話や交流等のかかわり合いの中で、互いの違いを理解し、自主性や主体性を培いつつ、良好な関係性を構築し、仲間外れやいじめ・けんかなどをせず、差別のない好ましい人間関係を育てる。

総合的な学習の時間

現代的な問題に触れるなかで、社会に直結した人権問題等について学ぶ機会を得て、探究的な見方・考え方を働かせて考える。
ウェルビーイングな社会の構築を踏まえ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えるうえでの資質・能力の基礎となる人権意識を育成する。

「こどもまんなか」を意識した生徒指導・教育相談等

人権意識を高めるための地域・家庭・関係機関等との連携

教育研究から

各教科や領域・道徳の学びの成果が得られる学習方法を「チーム学習」を通して展開する教育研究を展開し、人権学習においても学習方法の連続性によってより生かされるような仕組みづくりを進める。

日適指導から

道徳・特別活動・総合的な学習の時間との関連を図り、同学年・異学年の児童や地域の方との交流を通して、信頼と思いやりの心を育てる。

学習連携から

日本語適応指導教室「ひまわり」を中心に、国際的視野に立ち、異文化や個人差を認め合い、伸ばし合って活動し、理解を深める教育活動を展開する。

本校独自に人権週間を設定して「人権集会」を行い、児童による呼びかけや講話等を行う。
世界人権デーまでの活動を充実させ、思いやりのある温かい人間関係を築くように働きかける。
人権に関する作品づくり（標語・書道など）への参加を通して、人権について考える機会をもつ。
児童会活動などの自治的活動を通して、自ら差別のない学校づくりに参画できるような仕組みと意識を高められるような「マイ人権宣言」活動等を展開する。

多様な特色ある活動から

ユネスコスクールの展開
道徳・多文化共生・こどもまんなか

教職員の人権感覚の向上

コミュニティスクールの展開
青少年を核にした地域力育成